

「輝きを未来に！」・自ら学ぶ子・最後までやりぬく子・思いやりのある子・体をきたえる子

○生活目標 「元気よくあいさつをしよう」

☆学習目標 「学習の約束を確かめよう」

□保健目標 「自分のからだをよく知ろう」

◇給食指導 「給食の準備や後片づけを上手にしよう」

4月
4月
4月

留小ハッ子あれこれ

3月6日は、6年生を送る会・おくるんるん給食

3月6日（火）に「6年生を送る会」を行いました。

企画や運営は5年生が担当し、各学年で役割を分担しながら準備を進めました。

当日は、全校遊びやクイズ、教職員の発表など、楽しい企画が目白押しで、6年生との最後の思い出を作ることができました。



また、給食時間には、「おくるんるん給食」として体育館で縦割り班ごとに給食を食べました。二つの行事が行われ、とても楽しい1日となりました。

4年生が大根ピックに参加しました

2月24日（土）に4年生が村の観光協会主催の大根ピックに参加しました。

前日の23日（金）の5・6時間目を使い、『大根と小豆のゼリーよせ』『大根シュウマイ』『大根の照り焼きマヨチーズ』の3品を作り、当日は、有志での参加となりました。

全部で19品の力作が村内・村外から出品されましたが、子どもたちのアイデアや味付けなどが高く評価され、『大根シュウマイ』が銀賞、『大根の照り焼きマヨチーズ』が銅賞、『大根と小豆のゼリーよせ』が特別賞に輝き、子どもたちも満面の笑みを浮かべていました。



*お手伝いいただいたフレッシュ・ミズの皆様、お忙しい中、ありがとうございました。

お世話になりました～縦割り班集会～



2月22日（木）に、最後の縦割り班集会が行われ、今年度の活動に対する振り返りを行いました。

今年度も6年生のリーダーが中心となり、運動会や登山遠足など、一緒に活動する機会が多くありましたので、「楽しかった」「面白かった」という感想がたくさん聞かれました。

最後に、ホールで、リーダーからの報告がありました。その中で、全体を引っ張ってくれた6年生に、5年生からお礼のメッセージカードがプレゼントされました。

留寿都小学校学校便り



べにまる

平成30年3月23日

No.641

発行責任者

鈴木 裕



3月20日（火）、保護者の皆様、そして、多くのご来賓の皆様や在校生に見守られながら、第113回卒業証書授与式が行われ、13名が留寿都小学校を卒立っていきました。

中学校でもこの6年間で築いた仲間との絆を大切にしながら、自分の夢に向かい、力強く前進して欲しいと思います。



『卒業～夢は無限～』

校長 鈴木 裕

今年の冬は、寒くて雪の多い冬でした。また、インフルエンザの流行や暴風雪による臨時休校等、自然の厳しさを感じる冬となりました。そんな中でしたが、3月6日に「6年生を送る会」が開催されました。各学年の企画に対し、6年生のお返しがあり心のこもった会となりました。

6年生が在校生に残したものは、形になって残るものだけではなく心の中に思い出としてたくさんのものを残してくれました。

過日、発行されたPTA研修部の「たんぽぽ」ですが、6年生の作文「未来の自分へ」を読むと、4年後から14年後の自分を想定して書いてありました。漠然としている中にも、自分の進路や家族や友人についてもふれられており、進むべき道がだんだんと見えてきているようです。これからも、何事もあきらめずに頑張ってもらいたいと願っております。

また、20日の「卒業式」では、ご来賓、保護者、地域の皆様にご参列いただき、13名の卒業生を温かく「見送る」ことができました。卒業式の式辞の中は、以下の詩を紹介いたしました。

人生のバッターボックスに立った時、
思い切り振って空振りの三振ならいい。
ただ、見送りの三振だけはするなよ。
振つておけば良かったと後悔するから。

さて、今年度の教育活動も今日で終わりとなります。1年間の子どもたちの成長は、通知表の所見の中で書かれており、学習面や運動面で伸びたこと、係や委員会活動で頑張ったこと、普段の生活から「成長」が見られたこと等。日々の成長は小さくても1年間の成長は、大きいものがあります。子どもたち一人一人の成長を実感するとともに、新年度は、さらに高みを目指して頑張ってもらいたいと思います。

結びになりますが、保護者や地域の皆様には大変良く支えていただきました。1年間、本当にありがとうございました。



みやこ会より、雑巾を寄贈していただきました

今年も「みやこ会」の皆様から、新しい雑巾をたくさんいただきました。本当にありがとうございます。大切に使わせていただきます。

※「みやこ会」の皆様には、例年、5年生家庭科の裁縫の学習でもお手伝いをいただいております。

ありがとうございました

3月19日(月)、学校支援地域本部の池田幸一さんに、家庭科の調理実習などで使った包丁研ぎを行っていただきました。少しづつ切れ味が悪くなつた包丁ですが、丁寧に研いでいただいたおかげで、切れ味がよみがえりました。お忙しい中、本当にありがとうございました。



大変お世話になりました

この度の人事異動により、3名が退職・異動となりますのでお知らせいたします。

校長 鈴木 裕(すずき ゆたか)～(定年退職)

私は5年間、留寿都小学校に勤めさせていただきました。子どもたちの頑張りはもちろんのこと、保護者と地域が一体となって学校に協力してくださる素晴らしい学校でした。

ここでは、他の学校ではできないたくさんの教育活動を進めることができました。

私は、3月31日で38年間の教員生活にピリオドを打つことに致しました。5年間、皆様に支えていただき、充実した教員生活を送ることができました。

誠にありがとうございました。

教諭 杉本綾乃(すぎもと あやの)～赤井川村立赤井川小学校へ異動～

みなさん、こんにちは。2016年よりラオスにて青年海外協力隊として活動しておりました杉本綾乃です。留寿都小学校では3年間お世話になりました。あの日々は昨日のように思い出されます。この2年間で子どもたちはさらに大きく成長したことだと思います。子どもたちの笑顔に会いにまた留寿都に遊びに来ます。新しい学校では留寿都小学校やラオスでの経験を活かして楽しく頑張ります。本当にありがとうございました。

時間講師 鈴木未欧(すずき みお)～(退職)

初めての小学校での勤務で、最初はとても緊張していましたが、留寿都小学校の子どもたちは、いつも明るく元気だったので、たくさんパワーをもらうことができました。一年間という短い期間でしたが、充実した毎日を送ることができました。児童、保護者の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

6年生→村長さんへの提言～



ユネスコタイムの最後の学習として、6年生が留寿都村の未来についての提言を村長さんに行いました。

今年度最後の活動として、1年間の学習のまとめとなるように、村内を歩き、自分の目で感じた「外灯の設置」「点字ブロックの設置」「公園の設置」「緑を増やす取組」の4つの課題について、それぞれ提言を行いました。

多様な意見や要望でしたが、村長さんも、一つ一つにしっかりと耳を傾け、村の考え方を的確に伝えてくれました。

心配な事がありましたら…

子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ
いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。

●電話相談(無料、毎日24時間対応)

0120-3882-56

●メール相談

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp ※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

●来所相談 ※10:00～16:00

(土日・祝日、年末年始はお休みです。)

子ども相談支援センター 札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階

※上記の電話相談で予約してください。

明日から

4月5日(木)まで、
春休みとなります。

楽しく、

有意義なお休みに
してください。

平成30年度は、

4月6日(金)
スタートです。

元気に登校してください。